

## 豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

### 1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	学校営繕事業								
1-2 担当	部	教育部	課 又は施設	学校教育課	係	庶務係	評価票作成者	課長補佐庶務担当係長 濱島 英生	
1-3 総合計画における施策の体系	①節	教育文化 「個性ある文化と豊かな人間性を育むまちづくり」				③基本施策	義務教育	コード	4-3-1
						④単位施策(中)	学校施設の整備・充実	コード	4-3-1-3
	②項	学校教育				⑤単位施策(小)	学校施設の整備・充実	コード	4-3-1-3-1
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	市立小中学校 (12校)		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)		教育内容に応じた学習環境を整備し又、安全・安心な学校生活環境を整備する。			
1-5 事務事業の内容	学習しやすい環境作りと学校施設の安全確保のために、定期及び随時の点検や、営繕工事を行う								

### 2 事務事業実施の状況

	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み	社会状況等の事務事業がおかれる環境把握	市民ニーズの認識
2-1 事務事業の実施における基本認識	平成18年度	学校施設の安全確保のために、定期及び随時の点検を行った。アスベスト調査も行った。	耐震に対する取組み、アスベストへの対応など、安全安心への関心が高まっている。
	平成19年度	18年度と同様に定期・随時の点検を行った。又、アスベストについては浮遊調査を行った。	〃
	平成20年度	定期・随時の点検、アスベストの浮遊調査を行った。またガス配管設備改修工事(栄小・唐竹小)を行った。	〃
	平成21年度	定期・随時の点検、アスベストの浮遊調査及びアスベスト種類が追加された事に伴い、定性分析を行った。またガス配管設備改修工事(三崎小・中央小・豊明中・栄中)を行った。	〃
	平成22年度	定期・随時の点検、アスベストの浮遊調査及び栄小中学校、双峰小学校のアスベスト撤去を実施した。	
	平成23年度	定期・随時の点検を実施。アスベストについては、三崎小学校のアスベスト撤去を実施したことにより、全ての撤去を完了した。	
	平成24年度	定期・随時の点検を実施を行うだけでなく、設備、機材等の耐用年数等を勘案し適宜修繕を行い安全・安心な教育環境の確保を図る。	
	平成25年度		
平成26年度			
平成27年度			

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名		前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明
	点検回数(回)		306(回)	306(回)	消防設備・電気工作物・配管用エレベーター保守・プールろ過装置等保守点検 前期 年306回 後期 年306回

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	活動実績 a (単位)	12(校)	12(校)	12(校)	12(校)	12(校)	12(校)	12(校)	12(校)		
	直接事業費 b (千円)	30,202	28,858	114,992	117,941	104,427	124,347	120,497			
	人件費 c (千円)	1,024	1,024	3,072	3,072	2,976	2,880	2,880			
	合計コスト d (b+c) (千円)	31,226	29,882	118,064	121,013	107,403	127,227	123,377			
単位コスト d/a (千円)	1校当たり 2,602	1校当たり 2,490	1校当たり 9,839	1校当たり 10,084	1校当たり 8,950	1校当たり 10,602	1校当たり 10,281				

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 直接事業費 保守点検等 120,497,492円(修繕料・機械保守委託料・アスベスト調査料・営繕工事費)  
人件費 3,000円/1h×320時間=960,000円×3人=2,880,000

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2-4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(回)	306	306	306	306	306	306	306			
	後期目標値に対する達成度(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			

### 3 事務事業の自己評価結果

3-1 評価結果(アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度担当課評価		A	A	A	A	A	A	A			

- 4段階評価結果
- A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する  
 B : 事務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要  
 C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要  
 D : 事務事業の廃止が相当
- 判断の基準
- ①必要性(必要な事務事業であるか)  
 ②公共性(公が実施する意味があるか)  
 ③妥当性(ニーズに対して投入が適正か)  
 ④効率性(結果に至る活動に無駄はないか)  
 ⑤有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)  
 ⑥市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3-2 評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度		利用頻度及び耐用年数を的確に掴み、早めの点検・修理を心がける。	18年度からのアスベスト調査を継続して行う。教室への天井扇を引続き設置する。	プール・エレベータの事故などが他市町であったが、本市においては、日頃の点検等により被害がなかったことが評価できる。
平成19年度		安全な学習環境を保つよう定期・随時の点検修繕に努める。	〃	常日頃の学校職員の目視などによる報告で、早い段階に対応をおこなったこと、保守点検等により被害がでなかった。
平成20年度		〃	引続きアスベスト調査を行う。	〃
平成21年度		安全な学習環境を保つよう定期・随時の点検修繕に努める。また、保守等は現状を維持しながら、コストダウンに努める。	一層のコストダウンを図っていく。	保守点検等の実施により、安全に努めることができた。
平成22年度		安全な学習環境を保つよう定期・随時の点検修繕に努める。また、保守等は現状を維持しながら、コストダウンに努める。アスベストについては、撤去を進める。		
平成23年度		安全な学習環境を保つよう定期・随時の点検修繕に努める。また、保守等は現状を維持しながら、コストダウンに努める。		
平成24年度		教育内容に適した学習環境の提供に努める。また、定期・随時の保守点検等を行い、適切かつ迅速な修繕を行うことで安全で安心な教育環境の確保を図る。		
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				

### 4 事務事業の総合評価結果

4-1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度		A	継続して事業を進めること。
平成19年度		A	継続して事業を進めること。
平成20年度		A	継続して事業を進めること。
平成21年度		A	継続して事業を進めること。
平成22年度		A	継続して事業を進めること。
平成23年度		A	継続して事業を進めること。
平成24年度		B	修繕、点検についての長期的な計画を検討し、持続的な安心安全な教育環境の確保に努めること。
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			